JR東日本エネルギー開発株式会社
代表取締役社長 松本義弘様

米沢市長 近藤洋介

(仮称)栗子山風力発電事業に関する市民説明について(依頼)

本市では、御社が令和11年3月の運転開始を目指して計画している(仮称)栗子山風力発電事業に関して、環境影響調査法に基づく環境影響調査(いわゆる環境アセス)の準備書に対する米沢市の意見書を令和6年5月10日に山形県知事に提出しています。

この意見書では、「事業の実施にあたっては、市民の理解が必要不可欠であることから、周辺住民等に対して十分なコミュニケーションを図るとともに、事業の進捗状況を適宜報告し情報共有をするなど、相互の意思疎通に最大限努めたうえで、事業による環境影響を積極的かつわかりやすく示すこと。」、また、「周辺住民はもとより、市民全体に向けての説明会を早急に行い、事業者としての説明責任を果たすこと。住民との意見交換を通して、誠実に理解の醸成を図り、合意形成を図ること。」を求めています。

御社は、これらの意見等を踏まえて、令和6年8月4日(日)及び5日(月)に市民全体に向けての事業説明会を開催されましたが、参加者からの質問等に対する説明が不十分であり、理解醸成が図られるまでには至っていないものと考えていることから、御社に対し以下のことを求めます。

記

- 1 希望する市民を対象とした追加の説明会若しくは意見交換会を早急で開催し、十分な説明責任を果たすこと。特に、事業計画に係わる対応方法等については、具体的かつわかりやすい形で説明すること。
- 2 参加者から要望のあった環境影響調査準備書の公開を検討すること。
- 3 令和6年8月4日(日)及び5日(月)に開催した事業説明会及び希望する市民を対象とした追加の説明会若しくは意見交換会の議事録について、個人情報特定されない形での公開を検討すること。